

執り成す祈り

シリーズ～預言者の声～

2022/10/30

ダニエルについて

- 最初のバビロン捕囚
 - ヨヤキム王の治世3年目（BC605年）にバビロンの王ネブカドネツアルがエルサレムを包囲し、神殿の祭具を奪った（1:1-2）
 - ダニエルら優秀な若者も連行された
- 「預言者」ではなかったダニエル
 - バビロン～メディア・ペルシャの時代、有能な宰相として王に仕えた
 - 主なる神への信仰を命がけで守った
 - 預言者として召されたという記述はない
 - 同時代のエゼキエルとの違い
 - 夢・幻によって啓示を受けた（黙示文学）

ネブカドネツアル王の夢

- 夢の解き明かしを求めたネブカドネツアル
 - 解き明かしだけではなく、夢そのものも言い当てろ、と言った
 - 賢者たちがそれは無理だということ、バビロン中の知者を皆殺しにするよう命じた
- 主に祈るダニエルたち
 - 「ダニエルは家に帰り、仲間のハナンヤ、ミシャエル、アザルヤに事情を説明した。そして、他のバビロンの賢者と共に殺されることのないよう、天の神に憐れみを願い、その夢の秘密を求めて祈った。すると、夜の幻によってその秘密がダニエルに明かされた。」2:17-19

ダニエル書2章31～47節

王様、あなたは一つの像を御覧になりました。それは巨大で、異常に輝き、あなたの前に立ち、見るも恐ろしいものでした。それは頭が純金、胸と腕が銀、腹と腿が青銅、すねが鉄、足は一部が鉄、一部が陶土でできていました。見ておられると、一つの石が人手によらずに切り出され、その像の鉄と陶土の足を打ち砕きました。鉄も陶土も、青銅も銀も金も共に砕け、夏の打穀場のもみ殻のようになり、風に吹き払われ、跡形もなくなりました。その像を打った石は大きな山となり、全地に広がったのです。これが王様の御覧になった夢です。さて、その解釈をいたしましょう。王様、あなたはすべての王の王です。

天の神はあなたに、国と権威と威力と威光を授け、人間も野の獣も空の鳥も、どこに住んでいようとみなあなたの手にゆだね、このすべてを治めさせられました。すなわち、あなたがその金の頭なのです。あなたのあとに他の国が興りますが、これはあなたに劣るもの。その次に興る第三の国は青銅で、全地を支配します。第四の国は鉄のように強い。鉄はすべてを打ち砕きますが、あらゆるものを破壊する鉄のように、この国は破壊を重ねます。足と足指は一部が陶工の用いる陶土、一部が鉄であるのを御覧になりましたが、そのようにこの国は分裂しています。…この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます。

山から人手によらず切り出された石が、鉄、青銅、陶土、銀、金を打つのを御覧になりましたが、それによって、偉大な神は引き続き起こることを王様にお知らせになったのです。この夢は確かであり、解釈もまちがいございません。」

これを聞いたネブカドネツアルはひれ伏してダニエルを拝し、献げ物と香を彼に供えさせた。王はダニエルに言った。「あなたがこの秘密を明かすことができたからには、あなたたちの神はまことに神々の神、すべての王の主、秘密を明かす方にちがいない。」

ネブカドネツアル王の夢

but each succeeding metal is stronger, as each empire was more powerful than the last.

胸と腕(銀)
メディア・ペルシャ

Babylon.

腹と腿(青銅)
ギリシャ

すね(鉄)
ローマ

In

The
Ale
div

The two legs apparently signified the east-west division that characterized the Late Roman Empire.

足(鉄・陶器)
その後の国々？

strong and some weak

頭(金)
バビロン



成就した夢

- バビロンの後に起こった国々
 - 胸と腕(銀):メディアとペルシャの連合国
 - 腹と腿青銅(青銅):ギリシャ>四国統治
 - 「全地を支配します」
 - すね(鉄):ローマ
 - 「第四の国は鉄のように強い。」
- 「人手によらず切り出された石」
 - 「その像の鉄と陶土の足を打ち砕きました。」
 - 「この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます。」

成就した夢

- バビロンの後に起こった国々
 - 胸と腕(銀):メディアとペルシャの連合国
 - 腹と腿青銅(青銅):ギリシャ>四国統治
 - 「全地を支配します」
 - すね(鉄):ローマ
 - 「第四の国は鉄のように強い。」
- 「人手によらず切り出された石」
 - 「その像の鉄と陶土の足を打ち砕きました。」
 - 「この王たちの時代に、天の神は一つの国を興されます。この国は永遠に滅びることなく、その主権は他の民の手に渡ることなく、すべての国を打ち滅ぼし、永遠に続きます」

イエス・キリスト

教会

ダニエル書9章1～20節

ダレイオスの治世第一年のことである。ダレイオスはメディア出身で、クセルクセスの子であり、カルデア人の国を治めていた。さて、わたしダニエルは文書を読んでいて、エルサレムの荒廃の時が終わるまでには、主が預言者エレミヤに告げられたように七十年という年数のあることを悟った。わたしは主なる神を仰いで断食し、粗布をまとい、灰をかぶって祈りをささげ、嘆願した。わたしは主なる神に祈り、罪を告白してこう言った。「主よ、畏るべき偉大な神よ、主を愛しその戒めに従う者には契約を守って慈しみを施される神よ、わたしたちは罪を犯し悪行を重ね、背き逆らって、あなたの戒めと裁きから離れ去りました。あなたの僕である預言者たちが、御名によってわたしたちの王、指導者、父祖、そして地の民のすべてに語ったのに、それに聞き従いませんでした。

主よ、あなたは正しくいます。わたしたちユダの者、エルサレムの住民、すなわち、あなたに背いた罪のために全世界に散らされて、遠くにまた近くに住むイスラエルの民すべてが、今日のように恥を被っているのは当然なのです。主よ、恥を被るのはわたしたちであり、その王、指導者、父祖なのです。あなたに対して罪を犯したのですから。憐れみと赦しは主である神のもの。わたしたちは神に背きました。…わたしたちにも、わたしたちを治めた指導者にも告げられていた主の御言葉は成就し、恐ろしい災難が襲いました。エルサレムに下されたこの災難ほど恐ろしいものは、いまだ天下に起こったことはありませんでした。…主よ、常に変わらぬ恵みの御業をもってあなたの都、聖なる山エルサレムからあなたの怒りと憤りを翻してください。わたしたちの罪と父祖の悪行のために、エルサレムもあなたの民も、近隣の民すべてから嘲られています。

わたしたちの神よ、僕の祈りと嘆願に耳を傾けて、荒廃した聖所に主御自身のために御顔の光を輝かしてください。神よ、耳を傾けて聞いてください。目を開いて、わたしたちの荒廃と、御名をもって呼ばれる都の荒廃とを御覧ください。わたしたちが正しいからではなく、あなたの深い憐れみのゆえに、伏して嘆願の祈りをささげます。主よ、聞いてください。主よ、お赦してください。主よ、耳を傾けて、お計らいください。わたしの神よ、御自身のために、救いを遅らせないでください。あなたの都、あなたの民は、御名をもって呼ばれているのですから。」こうしてなお訴え、祈り、わたし自身とわたしの民イスラエルの罪を告白し、わたしの神の聖なる山について、主なるわたしの神に嘆願し続けた。

ダニエルの祈り

- エルサレムの荒廃が終わる
 - エレミヤの預言
 - 「バビロンに七十年の時間が満ちたなら、わたしはあなたたちを顧みる。わたしは恵みの約束を果たし、あなたたちをこの地に連れ戻す。」エレミヤ29:10
 - 最初のバビロン捕囚が605年（ダニエルらが連行された）とすると535年が70年目に当たる
 - 「ダレイオスの治世第一年」は539年（4年前）
- 本気で祈るダニエル
 - 「わたしは主なる神を仰いで断食し、粗布をまとい、灰をかぶって祈りをささげ、嘆願した。」

自分たちの責任である

- 自分たちの罪を認める
 - 「わたしたちは罪を犯し悪行を重ね、背き逆らって、あなたの戒めと裁きから離れ去りました。」
- 預言者の言葉に耳を貸さなかった
 - 「あなたの僕である預言者たちが、御名によって…語ったのに、それに聞き従いませんでした。
- 裁きは当然のことである
 - 「あなたに背いた罪のために全世界に散らされて、…今日のように恥を被っているのは当然なのです。…わたしたちにも、わたしたちを治めた指導者にも告げられていた主の御言葉は成就し、恐ろしい災難が襲いました。」

執り成す祈り

- 恵みによって怒りをおさめて下さい
 - 「主よ、常に変わらぬ恵みの御業をもってあなたの都、聖なる山エルサレムからあなたの怒りと憤りを翻してください。」
- 深い憐れみのゆえに赦して下さい
 - 「わたしたちが正しいからではなく、あなたの深い憐れみのゆえに、…主よ、お赦してください。」
- 主の御名のためにお救い下さい
 - 「主よ、耳を傾けて、お計らいください。わたしの神よ、御自身のために、救いを遅らせないでください。あなたの都、あなたの民は、御名をもって呼ばれているのですから。」